

来年は生誕150周年
遠野が生んだ台湾人類学の第一人者

伊能 嘉矩

【人物紹介】

台湾人類学者。慶応3年(1867)、現在の遠野市東館町に生まれる。東京帝国大学の坪井正五郎から人類学を学び、明治28年(1895)台湾に渡り、先住民族の調査・研究を10年間行う。遠野に帰郷後は、台湾研究を進めるかたわら、柳田國男や佐々木喜善、ネフスキーなどの民俗学者と交流し、『遠野物語』の成立にも影響を与えた。台湾研究の大著『台湾文化志』は、現在も国際的に評価が高い。大正14年(1925)没。



1_ 首都台北の繁華街「士林夜市(しりんよいち)」。日本人観光客の人気スポットでもあり、いたる所に日本語表記の看板や説明書きがある
2・3_ 文化研究センターの職員は台湾大学を訪問。文化交流について意見交換(2)。伊能嘉矩が収集した資料が大切に保存されていた(3)
4_ 観光交流レセプションでは、派遣職員が現地の観光関係者らと交流。この人脈を生かし誘客につなげる



レポート

台湾と伊能嘉矩

花巻空港「台湾便定期運航化」をチャンスに!

台湾での誘致活動に市職員5人を派遣

県と県内自治体などが連携して取り組む、花巻空港の利用促進と台湾便の定期運航化。県内の関係者らは台湾を訪問し、「台湾ミッション」と名付けられた誘致活動を展開。本市の職員5人も参加し、今後の可能性を調査してきました。

花巻空港の台湾便定期運航化とは

花巻空港と台湾を結ぶ春季国際チャーター便は5月下旬から6月末までの間、11往復計22便が運航されました。チャーター便の運航は今年で3年目。本年4月には、チャーター便を運航する台湾の中華航空が、来年度から年間100便程度の定期運航化を検討する意向を示したこともあり、県内の観光関係者らは熱い視線でその行方を見守っています。

県は「台湾ミッション」と名付けた県知事によるトップセールスを実施。ミッションでは、達増拓也知事と県内自治体の関係者ら61人が、チャーター便を利用して5月29日から6月1日までの5日

躍した歴史がある▼東日本震災時に多くの支援を受けたなど、ゆかりが深いのも追い風です。

果が得られた一方で、市の受け入れ態勢やPR不足も浮き彫りに。特に、「遠野」の知名度をもっと浸透させる必要があると認識させられました。

「伊能嘉矩」の縁をチャンスに

定期運航化が実現すれば、これまで以上に台湾人旅行者が本県を訪れることになり、本市を訪れる観光客も増える可能性がります。アジア有数のハブ空港である桃園空港を経由して他国に行ったり、他国から人を呼び込んだりすることも可能になります。観光面だけでなく、文化的な交流や防災分野の交流なども期待できます。

伊能嘉矩は、日本統治時代の台湾に渡り、先住民の歴史や文化を研究した本市出身の偉人。来年に生誕150周年を迎えます。今回のミッションでは、台湾大学などが所蔵する伊能嘉矩の資料などを調査することができたほか、同大学の教授らと、今後の文化交流の約束を得ることができました。互いに企画展などを行いながら交流を深める予定で、伊能嘉矩を軸に、遠野の知名度を高めていくことが求められます。

ミッションで見た遠野の課題

今回の「台湾ミッション」に参加した市職員は、▼台湾人観光客のニーズ調査▼生活習慣や交通事情の実態把握▼特産品のPRと輸出の可能性調査▼伊能嘉矩の業績調査などを実施。観光面では、▼現地の観光関係者とのネットワークを構築▼台湾人観光客のニーズを再把握などの成

市は今後、市内の観光関係機関・団体と連携する「インバウンド戦略会議(仮称)」を立ち上げ、本格的な誘客に取り組む予定です。ミッションで得られた成果と課題を生かし、花巻空港の台湾便定期運航化を、地域活性化のチャンスに変えていきます。

間の日程で台湾を訪問。誘致活動や特産品のPRなどを展開しました。本市からは、商工観光課と文化研究センターの5人を派遣。観光・物産面と文化面での可能性を調査しました。

なぜ台湾か

インバウンドと呼ばれる日本を訪れる外国人観光客は増加傾向にあります。本県では、震災前の水準を取り戻しつつありますが、さらなる誘客が今後の課題です。

その中で、昨年度に本県を訪れた台湾人は約5万人で、全体の約51%。台湾における岩手の知名度は高まりつつあります。台湾は▼日本への関心が高く親日的▼かつて本県出身の後藤新平や新渡戸稲造、本市出身の伊能嘉矩が活

Study

【台湾】

人口は約2,300万人、面積は約36,000平方キロメートルで、日本の九州ほどの広さ。気候は北部が亜熱帯、南部が熱帯に属しており、夏は30度を超す蒸し暑い日が続く。日本と同様に台風による被害が多い。1895年～1945年は日本統治時代を経験したほか、最近では日本文化が幅広く浸透。親日感情は強い。花巻空港から約3時間で首都台北に着く。

